

平成29年度第1回通常理事会、平成29年度定時評議員会議決

平成28年度 事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

公益財団法人 仏教伝道協会

公益財団法人仏教伝道協会

平成28年度事業報告書

公益財団法人仏教伝道協会は、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的とし、定款に定める事業にそって各種事業を推進して参りました。

については、定款に定める事業に沿って「平成28年度事業報告」を致します。

平成28年4月1日より平成29年3月31日に至る公益財団法人仏教伝道協会の事業ならびに重要事項は次の通りである。

1. 公益目的事業報告（公1）

1. 趣旨（目的）まとめた理由

仏教典籍の現代語訳、外国語訳を行いその刊行、普及事業や仏教関連の各種講座、研究会の開催による仏教精神の啓蒙活動、さらに仏教音楽祭などによる仏教文化の興隆と継承活動、また仏教精神、学術、文化の振興に積極的に関わってきた個人、団体への顕彰・助成等いろいろな支援事業を通して世界中の一人でも多くの人に仏教を理解して頂き、豊かな人間性を育て、より良い社会形成促進をもって人類の幸福と世界平和の実現という共通の目的達成の手段であり下記の2-1) から2-3) までの事業は、つながりのあることから一つにまとめている。

2. 事業

2-1) 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業

1. 仏教聖典の現代語訳、外国語訳刊行、頒布事業に関する事項

◇「仏教聖典」各国語訳とその出版について

全世界に「仏教思想」を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳改訂を進めている。現在、翻訳言語数は46言語。また聖典を現代に即した内容にするため、平成28年度はポーランド語・チベット語・ミャンマー語を改訂した。引き続き、モンゴル語(キリル文字)・ネパール語・アラビア語等の改訂を進めている。

◇「仏教聖典」のホテル普及について

「仏教聖典」を世界の主要ホテルの客室に寄贈する運動は、国内のホテル47軒、海外のホテル153軒より新規申し込みを受けた。昨年に引き続き、出張による国内ホテルへの補充依頼活動を積極的に行い、新規・補充を合わせた平成28年度の寄贈冊数は、国内約43,000冊、海外約33,000冊となった。国内外あわせてホテル累計寄贈数は62カ国、約14,000軒・3,880,000冊に至った。

◇「仏教聖典」の教育機関等への普及について

仏教的情操教育を喚起するための教育機関等への仏教聖典頒布活動は、平成28年度は、大学・高校74校、保育施設172園を中心に、約40,000冊を寄贈した。これで平成24年度からの頒布開始以来、5年間の寄贈数累計は313,000冊、寄贈先は全国の仏教系大学・高校の約70%、138校に達した。また、名入れ印刷をした『和英対照仏教聖典』等を入学・卒業記念品として約11,500冊販売した。

その他、ミャンマーのシータグ国際仏教学院への『ミャンマー語仏教聖典』3,000冊を含め、国内外の団体等に約7,000冊を寄贈した。

◇『さどりの知恵を読むー仏教聖典副読本』頒布について

大学・高校等の教育現場で好評な『さどりの知恵を読むー仏教聖典副読本』の普及活動を積極的に行い、大学・高校57校、保育施設103園に、約40,000冊を寄贈した。また、全国寺院へは、施本として100,000冊頒布した。

◇『ブッダのおしえ』普及について

『仏教聖典』の一部を抜粋、編集した小冊子『ブッダのおしえ』を全国の有名観光寺院、ミュージアム、学校等に約105,000冊（日本語版85,000冊、英語版16,000冊）寄贈した。2011年からの累計寄贈冊数は日本語版約580,000冊、英語版約124,000冊となった。

2. 英訳大蔵経の刊行、頒布事業に関する事項

欧米をはじめとする英語文化圏にも仏教の真髄を理解していただくため「集大成された仏典」である『大正新脩大蔵経』の英訳刊行事業を進めている。日本の英訳大蔵経編集委員会と米国仏教伝道協会に設置の英訳大蔵経出版委員会との協力体制のもと、第1期分139典籍の刊行を進めている。翻訳完了した92典籍の内、84典籍を51巻にまとめ「英訳大蔵経」として出版している。平成28年度は第50巻『弥勒下生経・文殊問経』、第51巻『長阿含経(2)』の2巻を出版、頒布した。残り47典籍は翻訳進行中である。

3. その他仏教書籍の出版、頒布事業に関する事項

◇「一日一訓カレンダー」と解説書「みちしるべ」普及について

仏教の精神文化の裾野を広げるため全国の寺院、学校、保育園等へ「一日一訓カレンダー」・仏教書籍を制作、頒布している。

平成28年度は、「一日一訓カレンダー」八正道シリーズ5冊目の「正命」を刊行し、153,000部を頒布した。併せてカレンダー解説書—みちしるべ『正しい生活—正命—』（執筆者 酒井大岳 曹洞宗長徳寺住職）を教化教材として刊行し、約45,000冊を全国の寺院に頒布した。

◇「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト及び写真展について

「2019年一日一訓カレンダー」用の掲載写真を一般公募する「第3回 フォトコンテスト—ほとけの心」を開催し、写真を通してより多くの人びとに仏教に親しむ機会を提供した。平成28年1月から8月末までの応募期間中に427件 1,172枚の応募が

あり、平成28年9月5日に審査員会を開催、厳正な審査の上、入選作品31点を選定した。これら入選作品は、平成29年度に発刊される「2018年一日一訓カレンダー」に掲載する。

また、第2回フォトコンテスト入選作品の写真展を築地本願寺にて開催。平成28年7月9日から24日の期間中、約1万人の国内外の観光客が参拝に訪れ、本堂入口スペースに展示された入選写真と筆文字パネルを鑑賞した。

◇「こころの絵本大賞」開催について

鈴木出版(株)協賛、毎日新聞社・(公社)日本仏教保育協会・(公財)全国青少年教化協議会後援のもと、家族・友だち・勇気・いのち・おもいやり・愛情をテーマに、子どもたちにこころの大切さを伝えるための絵本を広く一般から募集する第1回「こころの絵本大賞」を開催。平成28年9月12日審査員会にて、159点の応募作品の中から入選作品9点を決定した。

また、第1回大賞受賞作品「ぼくのおまいりがながいいわけ」(作・絵/村田夕海子)を平成29年3月に刊行、全国の仏教系保育施設に3,000冊を寄贈した。

◇『ブツダがせんせい一心を育てるこども仏教塾』刊行と頒布について

幼稚園から小学校低学年を対象とした教材として、子どもに伝えたいことを親子で学べる『ブツダがせんせい一心を育てるこども仏教塾』(永岡書店)を再編集し、普及版の装丁で7月に刊行した。大きな反響があり、寺院・保育施設などに約110,000冊を頒布した。

◇『とってもやさしい はじめての仏教』普及について

初心者向けの冊子として仏教の歴史や宗派、仏教用語などを簡潔に解説した『とってもやさしい はじめての仏教』を寺院を中心に約88,000冊を寄贈した。2015年度からの累計寄贈冊数は約195,000冊となった。

2-2) 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業

1. 留学生奨学金制度に関する事項

◇外国人留学生奨学金制度について

日本で仏教学研究を希望する外国の学者・研究者または学生に対して、外国人留学生奨学金交付制度を設けている。

平成28年度は世界の有名大学や研究機関へ留学生奨学金応募要項を約220通送付、又ホームページでの一般公募で23名の応募があり、平成28年2月8日に開催された仏教学者からなる外国人留学生奨学金審査委員会の公正な審査により、Emanuele Davide Giglio氏(エマヌエーレ・ダヴィデ・ジッリオ氏、イタリア国籍、東京大学)、Katarzyna Marciniak氏(カタジナ・マルチニャク氏、ポーランド国籍、創価大学・国際仏教学高等研究所)の2名に支給した。

◇日本人留学生奨学金制度について

海外の大学や研究機関にて仏教精神とその文化を学ぶ、日本人の学者や研究者に日本人留学生奨学金制度を平成25年度から設けている。

平成28年度は日本の有名大学や研究機関へ留学生奨学金応募要項を約150通送

付、またホームページでも一般公募し、結果4名の応募があり、平成27年12月11日に開催された仏教学者からなる日本人留学生奨学金審査委員会の公正な審査により、中上 淳貴氏（ドイツ・ハンブルク大学）、堀内俊郎氏（ドイツ・ハンブルク大学）、松岡寛子氏（ドイツ・ライプツィヒ大学）の3名に支給した。

2. 顕彰事業に関する事項

国内外を問わず、仏教に関わる幅広い分野で貢献された方がたの功績を讃え、長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった方または団体に「仏教伝道文化賞」を、また今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる方または団体に「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」を授与する仏教伝道文化賞の表彰事業を行っている。

平成28年度は、平成28年4月下旬より仏教各宗派本山、仏教会、教務支所、仏教系学校、海外各仏教宗派教団本部等に約800通の推薦依頼書送付、ホームページでも周知を行い、仏教伝道文化賞に22通、沼田奨励賞に13通の推薦書を受領した。この推薦書をもとに、平成28年7月19日に仏教伝道文化賞選定委員会を開催し、下記の2名に授与する事を決定し、10月5日、第50回仏教伝道文化賞贈呈式を挙行し、賞金、記念品を贈り表彰した。

各受賞者名、受賞理由は次の通り。

仏教伝道文化賞

受賞者：石上善應 氏

受賞理由：インド説話及び浄土経典研究の第一人者。長年に亘り放送・講演・執筆等を通じて幅広く仏教とその文化を伝えた功績。

仏教伝道文化賞 沼田奨励賞

受賞者：松下功 氏

受賞理由：東洋的情緒を持った作品や日本の各種伝統芸能や声明を融合させた仏教精神を感じさせる現代音楽を開拓。

3. 助成事業に関する事項

◇団体等への助成について

当財団の事業目的と同じ目的を持ちその活動を積極的に展開している個人及び団体を選定し、当財団の目的とする事業実現のため国内外で助成支援を行っている。平成28年度は、平成28年2月12日と平成28年11月7日に開催された助成金審査委員会の決定に基づき以下の法人・団体に対して、国内980万円、海外80万円、\$269,000、CA\$56,000、€ 120,400、£ 30,000の助成を実施した。

助成先法人・団体

〈国内〉

公益財団法人全国教誨師連盟、東京親鸞会、日本印度学仏教学会、南無の会
公益財団法人中村元東方研究所、一般社団法人 お寺の未来、一般社団法人 向源百人組（寺子屋ブッダ）、十夜フェス実行委員会、インド哲学研究会
群馬県曹洞宗青年会、宗教者災害支援連絡会、全日本仏教青年会

〈海外〉

米国仏教大学院（沼田恵範教授基金設立事業）

米国仏教大学院（『Pacific World』刊行事業）

カリフォルニア大学バークレー校（Toshihide Numata Book Prize in Buddhism）

カリフォルニア大学ロサンゼルス校 仏教学センター

シカゴ大学神学部、マギル大学、ロンドン大学

ウィーン大学（「沼田仏教講座基金」）、ウィーン大学（「沼田仏教講座活動助成」）

ハンブルク大学、仏母寺、プリンストン大学

2-3) 仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動と支援事業

1. 啓蒙活動としての仏教関連講座、セミナー、研究会等の運営に関する事項

◇仏教聖典を初歩英語で学ぶ会について

一般の不特定多数の希望者を対象に、英語を通して仏教精神を学んでいただくことを目的とし、平成23年9月より月1回（8月を除く毎月第4木曜日、午後6時30分から午後8時まで）「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を開催している。

平成28年度は、近年外国人観光客が増え、その多くの方々は日本仏教寺院を参拝していることに注目し、講座参加者の学習意欲向上と外国人観光客に英語で仏教を説明できる人材を育成することを目的に、従来の「仏教を初歩英語で学ぶ会」の中で、「仏教英語ガイド」プログラムを実施。

講座内容に「仏教英語ガイド」3級コースのプログラムを盛り込み、当初予定していた定員40名の倍にあたる80名が通年の講座に参加し、その内41名が3級テスト（筆記・口頭）を受験、40名が合格した。平成29年度は3級コースと平成28年度3級コース合格者用の2級コースの2つのコースで講座を運営する。さらに、2級コースのテスト合格者には、都内寺院に英語ガイドボランティア適性者として推薦状を発行する予定である。

◇実践布教研究会について

日本仏教の祖師がたが歩まれた道を、現代に生きる僧侶たちが自ら体験することによって、聞・思・修一体となった仏道を体験していただき、仏教の現代的理解の促進、ならびに各宗派の僧侶間の交流を推進すべく、各宗派の本山を会場に毎年1回2泊3日にて実践布教研究会を開催している。

平成28年度は、平成28年6月1日から6月3日の2泊3日間、「布教伝道」をテーマに伝道者としてのあるべき姿を研鑽すべく、「布教伝道 ～玄奘三蔵と鑑真和上に学ぶ～」をテーマに掲げ、全国より宗派を超えて44名の僧侶が参集。法相宗大本山薬師寺を会場に第46回実践布教研究会を開催した。初日には、念法真教総本山金剛寺と法相宗大本山興福寺を参拝し、念法真教の桶屋良祐教務総長と興福寺の多川俊映貫首の講話を拝聴。二日目は玄奘三蔵院のある薬師寺にて山田法胤管主、村上太胤副住職の講話、三日目は鑑真和上を開祖にもつ律宗総本山唐招提寺にて西山明彦管長より講話を賜り、「捨身求法の人」である玄奘三蔵と鑑真和上について学んだ。また写経道場にて『般若心経』を書写し納経した。分科会では「宗教離れの大衆に向けて」をテーマに、参加者同士の活発な意見交換が行われ、宗派を越えて互いに親睦を深めるとともに研鑽を積んだ。

◇仏教聖典を生活に活かす会について

仏教精神を日常生活に活かすことを目的として不特定多数の一般の方を対象にホームページ等で周知し、「仏教聖典」を基本教材に、毎月1回専門家の講師を招き、「仏教聖典を生活に活かす会」を主催運営している。平成28年度はご講師に一島正真師、ケネス田中師を招き、11回開催し、のべ316名の参加があった。

◇仏教聖典を経営に活かす会について

仏教精神を学び事業経営に活かし、また人生の道標の一助とすることを目的とし、おもに事業経営者や社会人を対象に案内状や当財団のホームページ等で周知し、「仏教聖典」を基本教材に、毎月1回専門家の講師を招き、「仏教聖典を経営に活かす会」を主催運営している。平成28年度はご講師に木村清孝師、逸見道郎師を招き、8月を除く11回開催し、のべ278名の参加があった。また秋季研修会として9月24日～25日に金沢の宗林寺（浄土真宗本願寺派）、大乘寺（曹洞宗）を訪ね、参加者13名は研鑽を積みつつ親睦を深めた。

◇働く人のための坐禅会について

平成25年度より新企画として、働く女性を対象に坐禅を通じて、仏教に親しみを持ってもらう事を目的に本講座を開始。平成26年度より男女問わず、不特定多数の一般の方がたを対象にして“働く人の坐禅会”として専任の講師を招き、「仏教聖典」を使用した法話20分、坐禅40分、茶話会30分の構成で開催している。

平成28年度は、前年度に引き続きご講師に阿 純章師を招き、8月と12月を除く毎月1回、計10回開催し、年間講座参加者数は、170名であった。

◇BDKシンポジウムの開催について

平成28年度の年間テーマを「心のゆくえ」とし、それぞれ講師による副題を設け、下記の3回のシンポジウムを企画、実施した。

本シンポジウムの開催は、不特定多数の一般の方を対象とし、ホームページや業界誌などで周知し、定員は各120名だったが、毎回定員を超えた。

各シンポジウムの開催概要は下記の通り。

平成28年度第1回BDKシンポジウム

テーマ：「心ゆくえ：深層心からの健康－唯識思想に学ぶ」

開催日：平成28年5月26日（木）

時 間：18：00～20：00

講演者：横山絃一（立教大学名誉教授）

略 歴：1940年、福岡県生まれ。日本の仏教学者。唯識塾塾長。立教大学文学部名誉教授。鹿島神流師範。

平成28年度第2回BDKシンポジウム

テーマ：「心のゆくえ：今、病みゆく子どもたち…宗教に求められていること」

開催日：平成28年9月13日（火）

時 間：18：00～20：00

講演者：水谷 修（元教師、教育評論家）

略歴：1956年、神奈川県生まれ。上智大学文学部哲学科卒業。

「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。現在、花園大学客員教授。

平成28年度第3回BDKシンポジウム

テーマ：「心のゆくえ：坐禅をセロトニン神経から読み解く」

開催日：平成29年3月10日（金）

時間：18：00～20：00

講演者：有田秀穂（東邦大学医学部名誉教授）

略歴：1948年東京生まれ。東京大学医学部卒。東邦大学医学部統合生理学で坐禅とセロトニン神経・前頭前野について研究。各界から注目を集める「セロトニン研究」の第一人者。

◇BDK仏教ヨガ講座について

一般の不特定多数の希望者を対象に、身体と心の健康を養い、心や頭の整理をする場を持っていただくことを目的に、平成27年4月より月1回（毎月第1水曜日、午後7時から午後8時半まで）「BDK仏教ヨガ講座」を開催。講師は、浄土宗の僧侶で、ヨガインストラクターでもあるガッソ有香氏に依頼し、仏教の法話とヨガの実践を交えた講座を開催。結果、年間を通して386名の参加があった。

◇仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」について

より多くの一般の方がたに日本仏教の各宗派の持つ基本的な教義や宗祖を理解していただくため、平成28年度より新企画として本講座を開始。4月から11月まで（8月を除く）、月1回（午後7時から午後8時15分まで）、各宗派を代表する若手の僧侶を講師として招き、基本講義40分、法話30分の構成で開催し、毎回約70名が参加、年間講座参加者数は、472名であった。各開催概要は以下の通り。

開催日程	取り扱った宗派・宗祖	講師名
4月22日（金）	天台宗・最澄	阿 純章 氏
5月24日（火）	真言宗・空海	渡邊弘範 氏
6月13日（月）	浄土宗・法然	東海林良昌 氏
7月 8日（金）	浄土真宗・親鸞	前田壽雄 氏
9月30日（金）	臨済宗・栄西	松山大耕 氏
10月24日（月）	日蓮宗・日蓮	養輪顕量 氏
11月21日（月）	曹洞宗・道元	千葉公慈 氏

◇「特別坐禅会」開催について

一般の方を対象に、坐禅とヨガのワークショップを体験しながら仏教を学ぶ「特別坐禅会」を平成28年10月30日（日）曹洞宗大本山總持寺において開催した。約100名が参加し、ヨガと法話と坐禅を体験。また希望者には精進料理の昼食を用意。約70名が曹洞宗の精進料理を楽しみつつ、食事作法や仏教の考え方を学んだ。

◇「仏教香道講座」開催について

より多くの方に仏教文化に触れていただくため、香と仏教の関係性をそれぞれの歴史を振り返りながら学ぶ「仏教香道講座」を平成28年7月12日（火）に開催した。約70名が参加し、香木や抹香の香を実際に体験しつつ仏教と共に日本に伝来した香文化を学んだ。

◇「仏教と書道」開催について

平成29年1月29日（日）に薬師寺管主村上太胤師と書道家武田双雲氏を招き「今を生き抜く力をつける 仏教と書道」を開催した。参加者は約70名。村上太胤師による写経についての法話、村上太胤師と武田双雲氏の二人のトークショー、武田双雲氏の書道のワークショップを通じて、仏教の一端に触れていただいた。

◇「リアル修行体験の旅」について

実際に寺院を訪れ修行の一端を体験することにより、より仏教への理解を深めていただくことを目的に、長年当協会が実施してきた実践布教研究会を、新たに一般の方向けにアレンジした1泊2日の修行体験旅行を企画、実施した。平成27年10月8日、9日の1泊2日の行程で、天台宗総本山比叡山延暦寺・研修道場「居士林」を宿泊場所として一般参加者を公募し、全国各地より18名（職員・添乗員除く）が参加。

1日目は伝統的な食事作法や坐禅の体験、居士林所長・宮本祖豊師より講話をいただき、翌早朝から北嶺大行満大阿闍梨・光永圓道師の指導・引率のもと、豪雨の中夜通し回峰行を体験。参加者には、非日常を存分に体験できる環境を提供し、また通常の旅行企画では味わうことの出来ない“本物の修行体験”という新たな一面を通じ、仏教・仏教文化に触れていただく良い機会になった。

2. 仏教音楽の現代化とその普及事業について

伝統的宗教音楽を継承すると同時に、仏教音楽の現代化を進め、広く仏教精神とその文化に親しんでいただくことによって、仏教的基盤の確立を目指し、昭和52年以来、仏教音楽にちなんだコンサートや新しい仏教音楽の作品募集などを不定期で行っている。

平成28年度は、9月16日と3月1日に「音楽普及委員会」を招集し、「第18回仏教音楽祭(平成29年11月8日 於:紀尾井ホール)の開催について話し合った。

3. 三田落語会の事業について

仏教説話や寺社を舞台とする古典落語を交えて、近隣はじめ一般の方々に楽しんでいただくと同時に仏教精神の涵養と仏教文化継承を目的とし、平成24年4月から当財団の主催として「三田落語会」を開催運営している。

平成28年度は4月、6月、8月、10月、12月、2月の計6回開催し、のべ1804名の来場者があり、好評を得ている。

4. 貸し会議室事業に関する事項

◇公益目的事業としての施設の貸与事業について

仏教伝道センタービルの施設を有効活用し、公益目的事業として施設の貸与事業を行っている。当財団が公益財団移行後に公益目的として掲げる“豊かな人間性を育て、より良い社会の形成を促進しもって人類の幸福と世界平和の実現”に貢献する事を目的とした会議等を開催する公益法人、社会福祉団体、NPO法人、市民団体等を優先し、通常（一般）は3ヶ月前からの予約受付に対し、6ヶ月前から予約を受け付け、通常（一般）価格の半額で貸出し、多くの公益目的事業を側面から支援することによって、社会貢献している。

平成28年度の会議室の公益目的利用実績（公益財団、公益社団等の使用）は215件であった。

II. 収益事業報告（収1）

◇収益事業としての施設の貸与事業に関する事項

仏教伝道センタービルの施設における公益事業目的で当面使用予定のない空きスペースならびに空き時間を一般に向けて貸与する事業を行っている。

平成28年度の会議室の一般目的利用実績（一般株式会社等の利用）は547件であった。

Ⅲ．事務報告

1．役員等に関する事項

理事・監事

(平成29年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	略歴
代表理事	桂 紹隆	非常勤	平成27年6月25日 (再任) 平成29年3月23日 代表理事就任	広島大学名誉教授
理事	木村清孝	非常勤	平成27年6月25日 (再任)	東京大学名誉教授
理事	奈良康明	非常勤	平成27年6月25日 (新任)	駒澤大学名誉教授
理事	上山大峻	非常勤	平成27年6月25日 (再任)	龍谷大学名誉教授
理事	門脇邦彦	非常勤	平成27年6月25日 (再任)	日本空港ビルデング株式会社 名誉会長
理事	野村邦武	非常勤	平成27年6月25日 (再任)	元富士銀行代表取締役常務
理事	中谷忠雄	非常勤	平成27年6月25日 (再任)	元株式会社ミットヨ 代表取締役専務
理事 (常務理事)	生田忠士	常勤	平成27年6月25日 (再任)	元株式会社ミットヨ取締役
監事	中野東禅	非常勤	平成25年4月1日	竜宝寺前住職
監事	松村智司	非常勤	平成25年6月25日	元第一勧業銀行取締役

※沼田智秀氏は平成29年2月16日に逝去した。

評議員

(平成29年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	略歴
評議員	山田一眞	非常勤	平成25年4月1日	金剛院院主
評議員	小出忠孝	非常勤	平成25年4月1日	愛知学院大学学院長
評議員	市川智康	非常勤	平成25年4月1日	池上本門寺学頭
評議員	塩入亮乗	非常勤	平成25年4月1日	浅草寺本堂部
評議員	平田史郎	非常勤	平成25年4月1日	国府台女子学院学院長
評議員	阿 純孝	非常勤	平成27年6月25日	圓融寺名誉住職
評議員	西本照眞	非常勤	平成28年6月23日	武蔵野大学学長
評議員	中川 徹	非常勤	平成25年4月1日	株式会社ミットヨ 代表取締役会長
評議員	沼田恵明	非常勤	平成25年4月1日	株式会社ミットヨ 代表取締役社長
評議員	中川敬史	非常勤	平成25年4月1日	株式会社ミットヨ 取締役上席執行役員

※田中教照氏は平成28年6月23日の定時評議員会の終結をもって評議員を辞任。

顧問

(平成29年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	略歴
顧問	金光寿郎	非常勤	平成25年4月1日	NHK放送ディレクター
顧問	菅原伸郎	非常勤	平成25年4月1日	元朝日新聞こころ 編集長
顧問	松田正典	非常勤	平成25年4月1日	広島大学名誉教授
顧問	北畠典生	非常勤	平成25年4月1日	浄土真宗本願寺派勸学
顧問	高島孝範	非常勤	平成25年4月1日	仏教伝道協会前常務理事

2. 理事会・監事会・評議員会に関する事項

(a) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成28年6月8日（水） （平成28年度第1回通常）	平成27年度事業報告および収支決算報告の件 諸規程諸規則の改定の件 評議員の辞任及び補欠評議員推薦の件 平成28年度定時評議員会開催の件	可 決 可 決 可 決 可 決
平成28年11月17日（木） （平成28年度第2回通常）	助成金交付の件 助成金制度改定の件	可 決 可 決
平成29年3月23日（木） （平成28年度第3回通常）	代表理事選定の件 平成29年度事業計画および収支予算書承認の件 沼田智秀氏に対する常勤役員退職慰労金 ならびに常勤役員特別弔慰金支給の件 沼田智秀氏合同葬に関する件	可 決 可 決 可 決 可 決

(b) 監事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成28年6月1日（水）	平成27年度財産状況および業務執行状況	正確であることを確認

(c) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成28年6月23日（木） （平成27年度定時）	平成27年度事業報告および収支決算報告の件 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する 規程」改定の件 評議員辞任に伴う補欠評議員選任の件	可 決 可 決 可 決 可 決

以 上

平成28年事業報告 附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成29年6月
公益財団法人仏教伝道協会
代表理事 桂 紹隆